

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

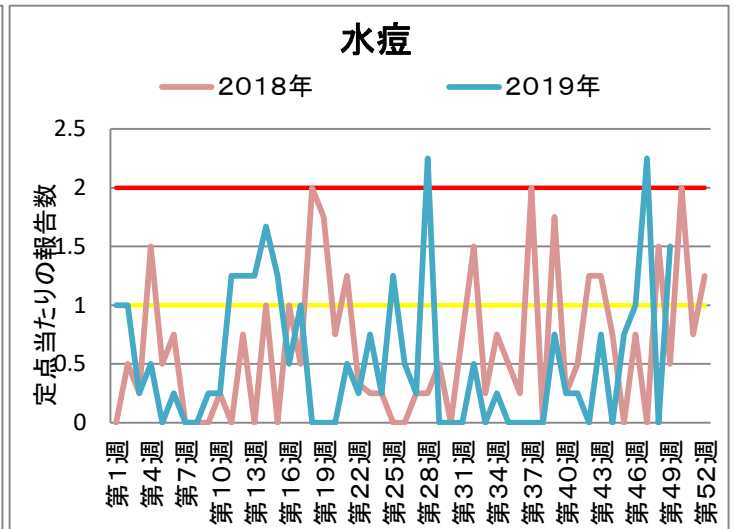
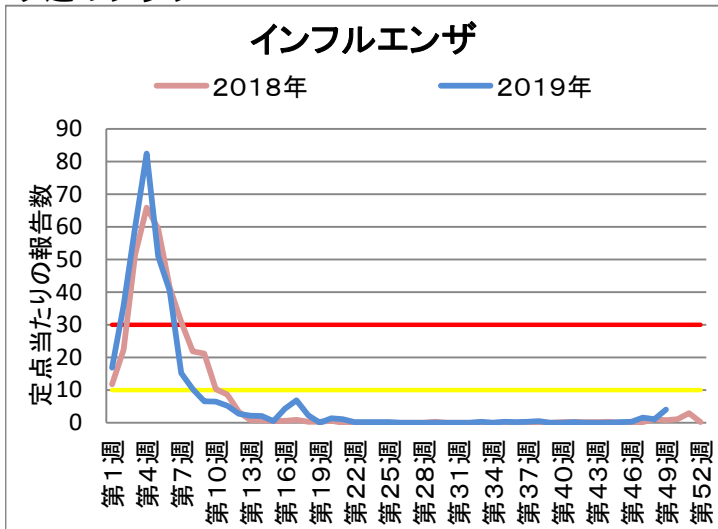
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 49 週 2019年12月2日 ~ 2019年12月8日

## 今週のコメント

- インフルエンザの報告数が次第に増加しています(定点あたり4.00)。外出後の手洗い、人混みを避ける、咳エチケット、部屋の湿度を保つ、十分な栄養・睡眠・休養、ワクチン接種などの対応をお願いします。
- 水痘の報告数が増加し注意報レベルです(定点あたり1.5)。みずぼうそうのことで、帯状疱疹と同じウイルスによる疾患です。空気・飛沫・接触感染により広がり、潜伏期間は2週間程度です。発熱後に発疹が出現、紅斑・水疱・膿疱・痂皮となり治癒します。9歳以下が患者の9割以上を占めます。
- 感染性胃腸炎の報告数も増加していますのでご注意ください。
- 結核の報告が1例ありました。
- 12月6日の厚労省報告によると、風しんとRSウイルス感染症の報告が続き、またインフルエンザの報告も増加しているとのことです。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	4.00	伝染性紅斑	-
RSウイルス感染症	0.50	突発性発しん	0.50
咽頭結膜熱	0.75	ヘルパンギーナ	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	流行性耳下腺炎	-
感染性胃腸炎	9.00	急性出血性結膜炎	-
水痘	1.50	流行性角結膜炎	-
手足口病	1.25		
1~4類、5類全数報告疾病			
結核(1人)			

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

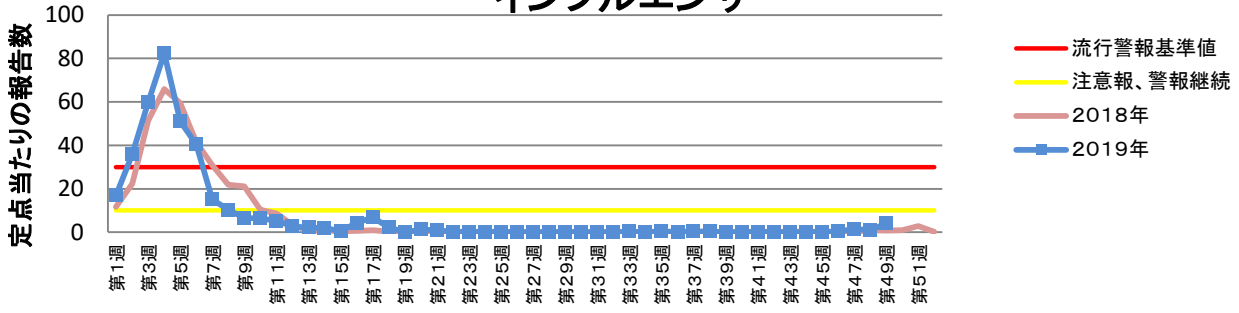
\* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所  
小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所  
眼科定点 : 1箇所

## 参考資料等

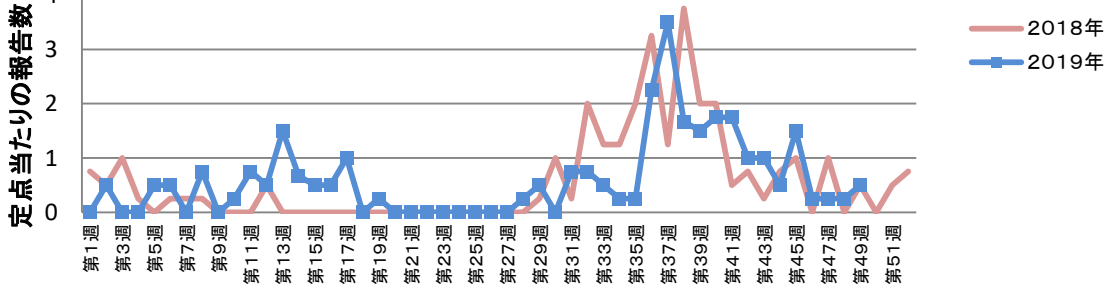
報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

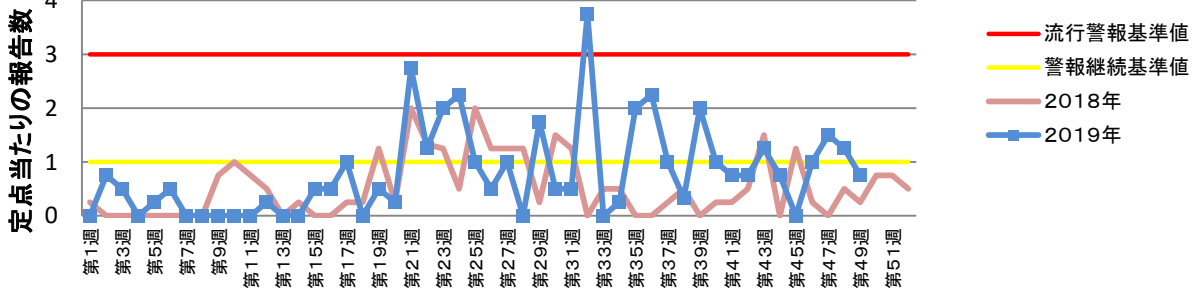
## インフルエンザ



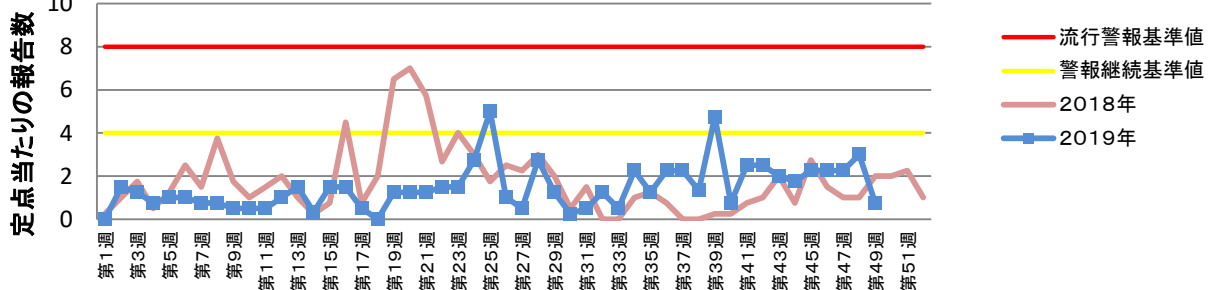
## RSウイルス感染症



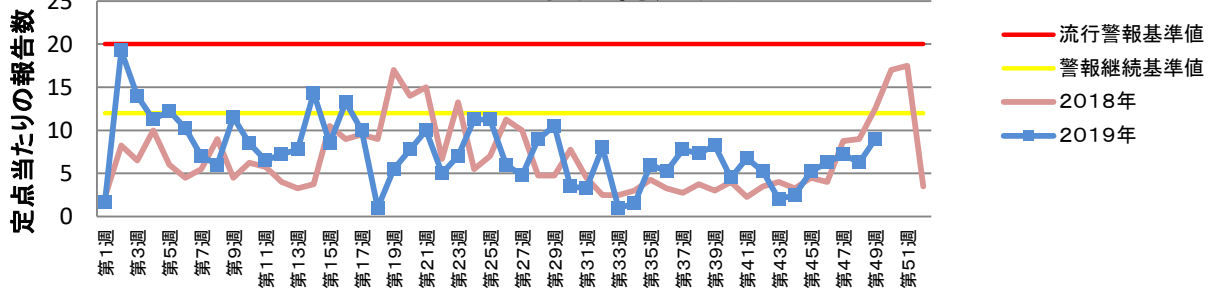
## 咽頭結膜熱



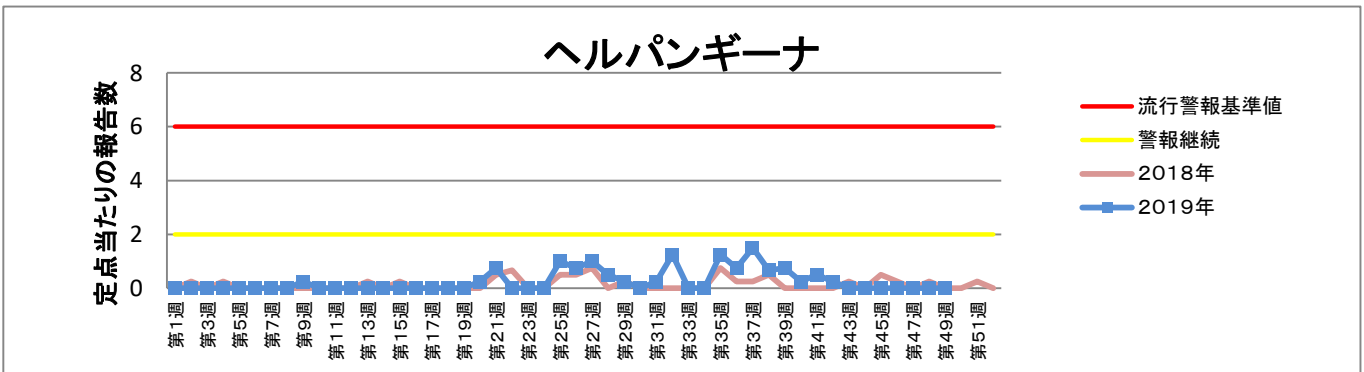
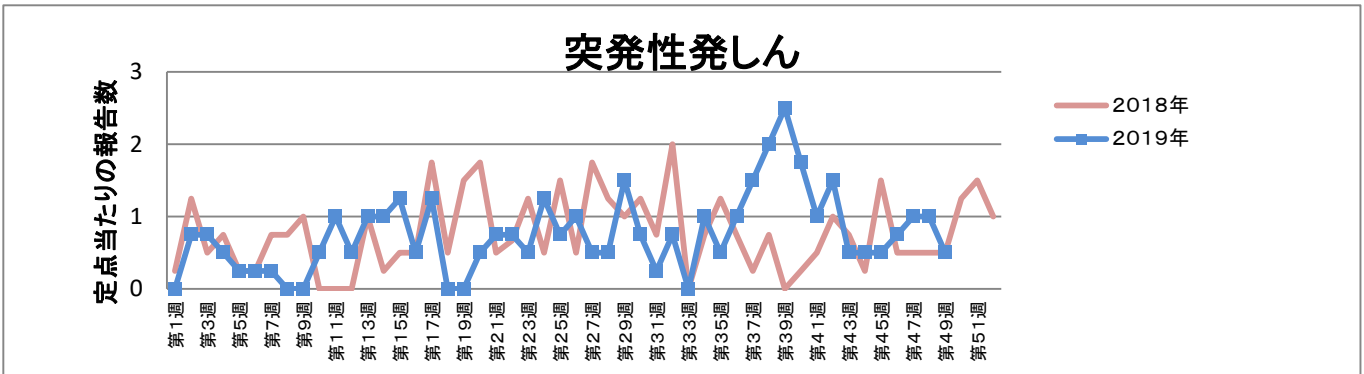
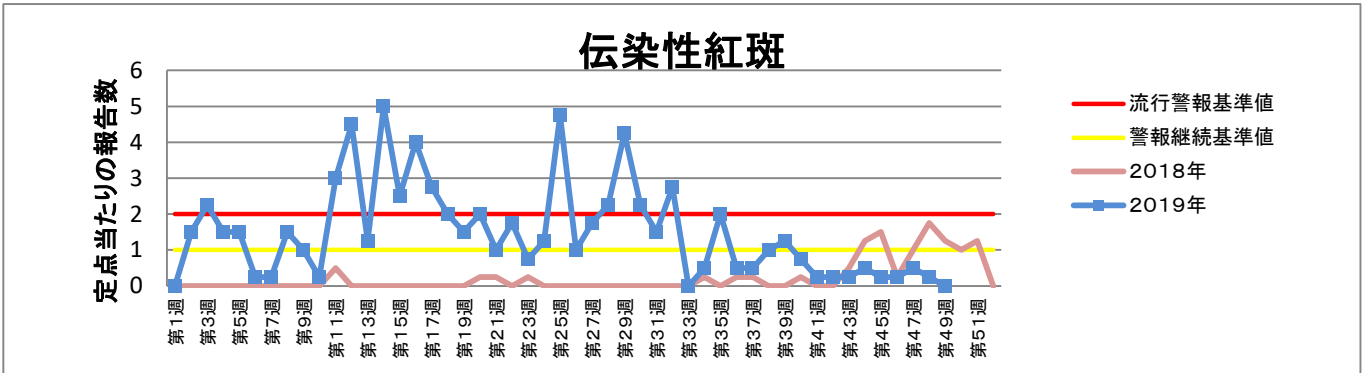
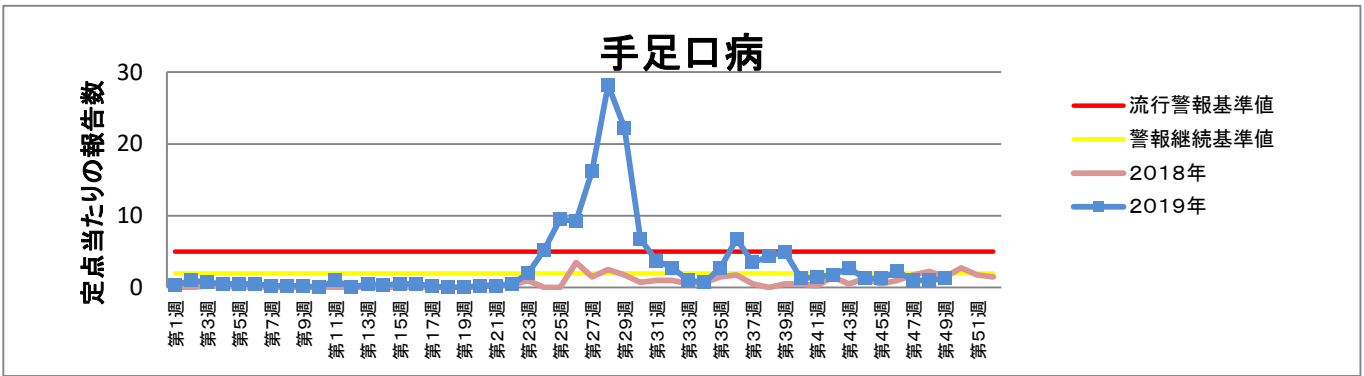
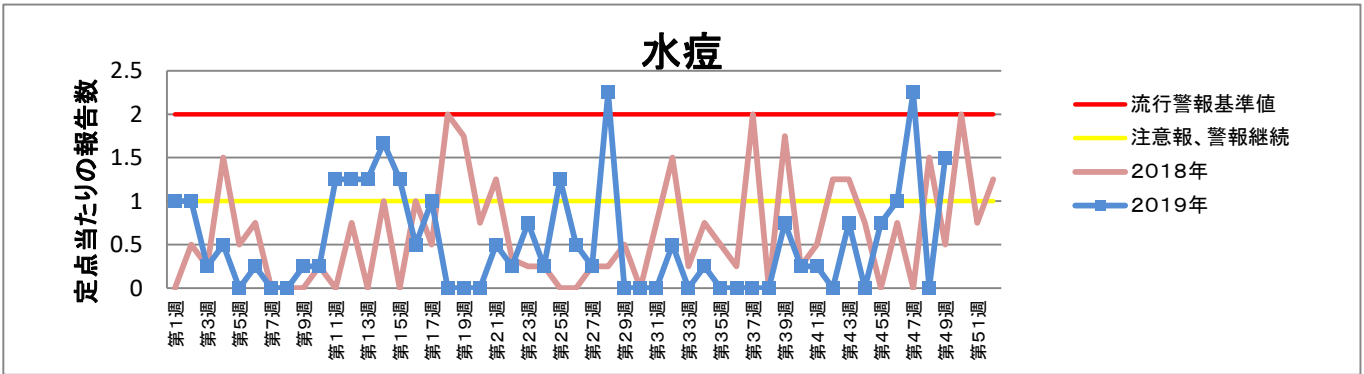
## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



## 感染性胃腸炎



## 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



## 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

